

氏名	白 井 正 明		
学位(専攻分野)	博 士(医 学)		
学位授与番号	博 乙 第 2505 号		
学位授与の日付	平成 4 年12月 31 日		
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第4条第2項該当)		
学位論文題目	ステロイド性大腿骨頭壊死症の病態に関する研究 —全身性エリテマトーデス (SLE) を中心に—		
論文審査委員	教授 太田 善介	教授 赤木 忠厚	教授 岡田 茂

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

大腿骨頭壊死症 (ANF) をSLE群, SLE以外のステロイド剤投与群 (ス剤投与群) とステロイド剤非投与群 (ス剤非投与群) の3群に分けX線学的進行を検討し, さらに摘出骨頭の病理組織学的観察を行った。ANFの早期例ではX線上80%が進行し, その進行は3年以内に起こるものが多かった。厚生省研究班分類は予後とよく関連し, 健常部占拠率や壊死占有率は骨頭圧潰の進行と密接な関係があった。病理組織学的には, ほぼ全例で添加骨形成などの修復反応が認められた。また, ANF発生当初は骨頭の遠位部まで虚血が生じていたと思われた。

SLE群は若年女性に多く, 両側例や多発性骨壊死例の頻度が高かった。骨頭圧潰の程度は他の群より大きく, 骨頭下骨折例もみられた。摘出骨頭は他の群と同様に添加骨形成や内軟骨性骨化などの修復反応がみられたが, 骨折例は粉碎がつよく修復像に乏しかった。

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

大腿骨頭壊死症をSLE群, SLE以外のステロイド剤投与群とステロイド剤非投与群の3群に分けX線学的進行を検討し, さらに摘出骨頭の病理組織学的観察を行い, それぞれの特徴を明らかにした。これは臨床的に有意義でかつ新しい知見であり, よって, 本研究者は博士 (医学) の学位を得る資格があると認める。